

宇宙基本計画工程表改訂に向けた進め方

平成 27 年 9 月 25 日
宇宙政策委員会

今年度の工程表改訂については、宇宙開発戦略本部会合(第 10 回)における総理指示を踏まえ、宇宙政策委員会中間とりまとめで掲げられた検討すべき項目等を中心に、以下の方針で検討を進める。

1. 検討スケジュール

～10 月末 宇宙安全保障部会・宇宙民生利用部会・宇宙産業・科学技術基盤部会で中間とりまとめ事項を中心に検討。検討に当たっては、必要に応じて関係府省からのヒアリング等も行いつつ、各部会において審議し、各項目に関する工程表改訂素案を取りまとめ。

～11 月上旬 各部会で取りまとめられた改訂素案をもとに、宇宙政策委員会で「工程表(平成 27 年度改訂)(素案)」をとりまとめ、パブリックコメント(1 週間程度)を実施。(調整未了の内容についてはその旨を明記)

11 月下旬 パブコメ結果も踏まえ、宇宙政策委員会で「工程表(平成 27 年度改訂)(原案)」を了承。

年内 宇宙開発戦略本部を開催し、「工程表(平成 27 年度改訂)」を決定することを目指す。

2. 改訂にあたっての方針

(1) 工程表改訂の検討に当たっては、3 月に定めた項目毎の成果目標も踏まえ、その進捗状況を検証しつつ、工程表改訂の検討を行う。項目毎の成果目標そのものも工程表に組み込む。

(2) 特に、中間とりまとめ 19 項目を中心に、その成果目標達成に向けた施策内容の充実・具体化、達成年限の確定、達成に至る中途段階の取組内容・スケジュールの明確化、主担当府省の明確化等により、現行の記述から一歩踏み込む形での施策の検討・具体化を進め、工程表改訂に反映する。

(3) 上記作業を通じて、所要の見直しを行った「工程表(平成 27 年度改訂)」及び、主な改訂内容や達成事項・進捗状況等を取りまとめた附属文書を作成する。

(参考) 宇宙基本計画 (抜粋)

3. 我が国の宇宙政策の推進に当たっての基本的なスタンス

(3) 個々の取組の達成目標を固定化せずに環境変化に応じて意味のある目標に

個々のプロジェクトや施策の実施に当たっては、出口戦略の実現に向けた政策項目の進捗状況の検証結果を踏まえ、成果が出るように柔軟に見直しを行うとともに、環境変化に応じて個々のプロジェクトを通じて達成すべき政策目標をも柔軟に見直し、また新たに実施すべき宇宙プロジェクトや講じるべき施策を追加する等により、「常に進化し続ける宇宙基本計画」を目指す。

新たな宇宙基本計画を「本文」と「工程表」の二部構成とし、「工程表」については、毎年、政策項目ごとの進捗状況を宇宙政策委員会において検証し、宇宙開発戦略本部において改訂する。

我が国が直面する厳しい財政制約を踏まえれば、既存プロジェクトの徹底した効率化・合理化を図りつつ、宇宙政策にメリハリをつけ、推進していくことが不可欠である。このため、政府は、我が国の安全保障政策における宇宙の重要性の増大や、宇宙産業基盤の衰退を食い止めるための長期的・具体的整備計画の必要性といった観点を踏まえ、「工程表」の策定・改訂に当たっては、全体として必要な事業量を確保しつつ、所要の財源を確保した上で、施策の優先順位を付けて宇宙政策を推進していくことにより最大限の効果を上げる。